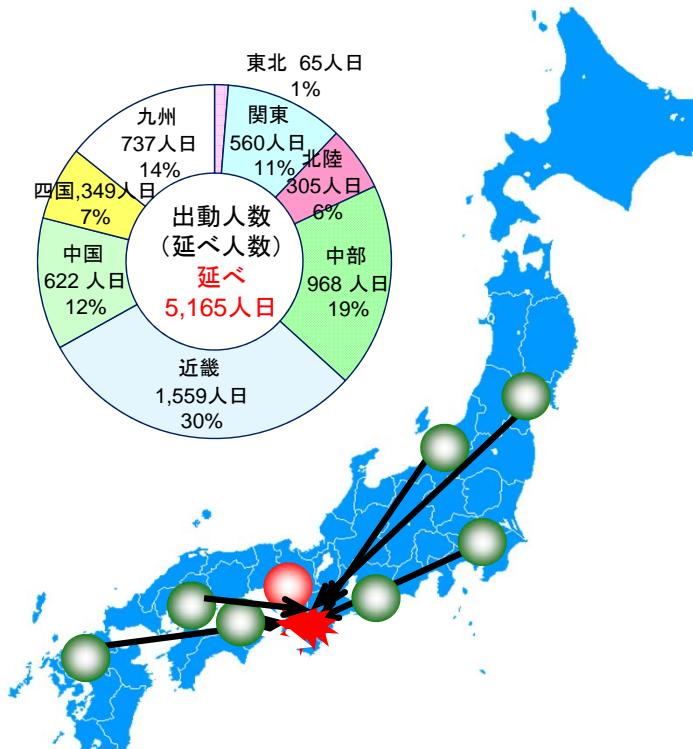


II 平成23年9月 台風第12号災害への派遣

○台風第12号は、9月3日に高知県東部に上陸し、四国地方、中国地方を縦断し、広い範囲で記録的な大雨となった。特に紀伊半島では降り始めの総降雨量が多い所で1,800mmを超え、奈良県上北山村の雨量計では総雨量で2,439mmを観測した。

○国土交通大臣の指示の下、発災直後から緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）として専門知識を有する職員の派遣や災害対策用資機材の広域運用を開始。

○発災後ほぼ1ヶ月の間にのべ4,300人・日を超える体制で、被災した三重県、奈良県、和歌山県において、被災状況調査、現地対策本部（自治体）の運営支援、大規模な土砂災害等に対する高度技術支援、応急対策・被害拡大防止（排水ポンプ車等災害対策用機械の設置等）を実施。



ヘリコプターを使った緊急的な被災状況調査



リエゾンによる要望確認



孤立地域での技術支援等



現地対策本部の運営支援



被災状況調査



マスコミ対応